

## 1 これまでの取り組み

### (1) 現 状

全ての教育の原点は家庭教育に始まるという視点から、市では、家庭教育の重要性、周知及び意識の向上を図るため、連続10回講座としていた家庭教育講座を1回だけでも参加できる仕組みに変えるとともに、保護者に向けてSNSを活用しオンライン配信をするなど、保護者だれもが参加しやすい環境を整えてきました。



家庭教育講座を受講する保護者

また、就学時健診時の講演会は、小学校入学後も保護者同士がよりよい人間関係を築ききっかけとなるよう保護者間の交流が深まる内容づくりに取り組んできました。

年2回発行の家庭教育通信では、実際の子育て経験者からの声を寄稿していただくなど、子育てに役立つ情報を発信し、保護者がより身近に家庭教育を感じられる機会となるように情報を届けています。

### (2) 課 題

- ① 保護者が子育てや教育の悩みを安心して共有・相談できる体制が必要です。
- ② インターネットやSNSを通じて子育てや教育に関する情報はあふれているものの、必要な情報を選び取ることが難しく、子育て方針の迷いや混乱を解決するための手段が求められます。
- ③ 共働きや長時間労働により、親子が一緒に過ごす時間が十分に取れず、保護者自身が「子どもと関わっていない」「会話が少ない」と感じ、育児への不安や焦りが生じ、家庭教育への負担感が増加している傾向にあり、子育て家庭を支える支援が必要です。

### (3) 実 績 【「家庭教育講座」「就学時健診時講演会」「家庭教育通信」の実績】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	目標値
家庭教育講座開催数	10	10	10	8	8	8回
就学時健診時の講演会数	9	9	9	9	9	9回
家庭教育通信の発行回数	2	2	2	2	2	2回

2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性

子どもたちの取り巻く環境や学校が抱える課題が多様化・複雑化しており、様々な課題に対応するため、市では、保護者が家庭教育に必要な知識を学習する為の機会を提供します。

保護者同士が悩みを共有できる「交流・学びの場」として、単発講座やオンライン配信の継続実施、親子のコミュニケーションの場として、夏休み親子講座を開催し、保護者同士のネットワークを構築することで、育児不安の軽減や家庭教育力の向上を図っていきます。



また、就学時健診時の講演会では、保護者同士で情報交換や相談し合える参加型講座を開催し、子育てについて学び合える機会をつくっていきます。

講座終了後にはアンケートや意見募集を行い、保護者が必要とする情報に応じて内容を更新します。

家庭教育通信では、短時間で読めるコラム形式にする等、子育てに関する情報やヒントを気軽に活用できるよう工夫を盛り込んで発行していきます。



(2) 施策の具体化

事業名	家庭教育支援事業		
事業内容 ・ SDGs	 4 質の高い教育をみんなに	 17 パートナシップで目標を達成しよう	学校と家庭・地域と連携・協力し、家庭教育に関する情報や学習機会の提供を行う。
担当課	生涯学習課	関係課	市内小中学校
連携・協働			

(3) 指標 【「家庭教育講座」「就学時健診時講演会」「家庭教育通信」の実績】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
家庭教育講座開催数						8回
就学時健診時の講演会数						9回
家庭教育通信の発行回数						2回

## 1 これまでの取り組み

### (1) 現 状

市では、放課後等に小学校の特別教室等を活用し、地域住民の協力を得ながら子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、子どもたちの豊かな人間性を育むとともに、地域の子どもたちと大人の積極的な参画・交流によって、地域コミュニティの充実を図る事業として「放課後子ども教室」を開設し、子どもたちの成長を見守っています。



放課後子ども教室で体験学習をする児童

また、運営の在り方として、保護者運営、市教育委員会運営、民間委託等検討を重ね、現在に至っています。

現在の開設校は、白井第一小学校、白井第二小学校、大山口小学校、七次台小学校（令和7年度新規開設）、池の上小学校、桜台小学校で、うち白井第二小学校と大山口小学校は市教育委員会が運営、その他の開設校の運営は事業者へ委託しています。

### (2) 課 題

- ① 家庭、学校、地域が一体となり「地域の子どもは地域で育てる」という意識を向上させつつ、子どもを安心・安全に見守るための居場所の確保が必要です。
- ② 全ての子どもが参加できるよう、放課後子ども教室と各小学校に開所している放課後児童クラブ（学童保育）との連携や一体的な運用を検討する必要があります。
- ③ 地域の人材不足により子どもを安心・安全に見守ることが難しい傾向となっているため、放課後子ども教室の運営や支援について検討していく必要があります。

### (3) 実 績 【放課後子ども教室開設校】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	目標値
設置校数	3	3	4	5	6	9校
新規開設校	池の上小	－	第一小	桜台小	七次治小	－
備 考						

## 2 これからの取り組み


### (1) 施策の方向性

地域の人材不足の解消や、放課後児童クラブ（学童保育）と連携した運営を実施するため、同一事業者による市内小学校での放課後子ども教室の開設を計画的に進め、地域の子どもたちが安心して遊び学べる居場所づくりを支援します。

また、現在市が運営している白井第二小学校、大山口小学校についても順次委託化を進め、市内全小学校での放課後子ども教室の開設に取り組んでいきます。

Topics	放課後児童クラブ（学童保育）との連携
<p>白井第二小学校では、令和6年度に夏休み期間中の特別企画として、放課後児童クラブ（学童保育）スタッフと連携して「なつやすみ教室」を実施しました。</p> <p>ペットボトルを使って風鈴を作ったり、ゲームコーナーでスイカボール割りをしたり、今後も多種多様なアイデアを用いて、家庭、学校、地域、そして放課後児童クラブ（学童保育）との連携を深めながら、子どもたちの居場所づくりを進めていきます。</p>	

### (2) 施策の具体化

事業名	放課後子ども教室推進事業		
事業内容 ・ SDGs		放課後の子どもの安心・安全な居場所づくりとともに、様々な体験活動や学習機会を提供する。	
担当課	生涯学習課	関係課	保育課
連携・協働	放課後児童クラブ		

### (3) 指標 【市内小学校における放課後子ども教室の設置状況】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
設置校数						9校
新規開設校				-	-	-
備考					-	-